

平成27年度滋賀県生涯歯科保健推進協議会

●滋賀県生涯歯科保健推進協議会の目的等

滋賀県では、平成6年7月に「滋賀県歯科保健将来構想－8020歯つらつしがー」を策定し、同年11月、滋賀県における生涯にわたる歯科保健対策の推進について協議するため「滋賀県生涯歯科保健推進協議会」を設置しました。

平成25年3月には新たな「滋賀県歯科保健計画－歯つらつしが21－」（第4次）を策定し、平成34年度を目標年度として、それぞれのライフステージにおいて必要な歯科保健対策を実施しているところです。

当協議会は、滋賀県歯科医師会、滋賀県医師会、滋賀県薬剤師会、滋賀県歯科衛生士会、滋賀県栄養士会、滋賀県健康推進員団体連絡協議会、滋賀県市町保健師協議会、滋賀県市長会、滋賀県町村会、滋賀労働局、滋賀県保健所長会に委員として就任いただき、歯科保健事業実施計画に関する事、歯科保健事業の進捗状況に関する事、体系的な歯科保健研修の推進に関する事、関係機関および関係団体との連携に関する事、その他生涯歯科保健の推進に関する事等について、協議いただくものです。

●協議会の委員

委員名簿のとおり

●協議会の開催

平成27年10月22日（木）10：00～12：00

別添開催概要のとおり

お問い合わせ先

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1

滋賀県健康医療福祉部健康医療課

TEL：077-528-3615

FAX：077-528-4857

滋賀県生涯歯科保健推進協議会 委員名簿

氏名	所属
佐藤 誠	滋賀県歯科医師会
大西 啓之	滋賀県歯科医師会
太田 英史	滋賀県歯科医師会
谷 仁史	滋賀県歯科医師会
木村 隆	滋賀県医師会
山口 豊子	滋賀県薬剤師会
山下 久美	滋賀県歯科衛生士会
小澤 恵子	滋賀県栄養士会
堀井 好子	滋賀県健康推進員団体連絡協議会
主馬 あゆみ	滋賀県市町保健師協議会（長浜市健康推進課）
蒲谷 律子	滋賀県市長会（湖南市健康福祉部健康政策課）
米田 志保子	滋賀県町村会（甲良町保健福祉センター）
小林 弦太	滋賀労働局労働基準部健康安全課
荒木 勇雄	滋賀県保健所長会（甲賀保健所）

◆ 開会

◆ 議事（議事進行：佐藤委員）

1. 滋賀県の歯科保健の現状について

（事務局説明）

条例概要、歯科保健計画概要および資料1により説明。

委員長：訪問歯科診療の実績が上がっていることについて、特に東近江の状況はいかがか。

委員：湖東の歯科医師会の事務所に訪問診療の相談窓口を週に3回、月水金に設置している。

段々わかってきたのが、「歯医者って家に来てくれるのですか？」という家族さんなどの反応であるということ。「行きますよ。」と歯科衛生士が答えると、「じゃあお願いします。」となる。歯科が在宅で受けられるということがまだまだ浸透していない。あと、そこから我々歯科医師が不慣れに準備しながら行くことになるが、そこで歯科衛生士のアセスメントが出来ていると、準備がスムーズにできる。慣れてくると、歯科側の気持ちも楽になってきて、歯科医師も少しずつ時間を融通して訪問に行くようになる。そんな流れが出来つつある。

また、在宅療養支援歯科診療所の申請が31件となっている。これも全国ワースト1であったのが、徐々に増えてきて今は目標を40件としている。

委員長：この取り組みについては、モデル的に開始して、今後ほかの圏域にも広げていくということを知っているが、いかがか。

事務局：当初からそのような事業計画を歯科医師会と立てている。ただし、課題としては歯科衛生士がいないということがある。スキルを持ち、さらに時間的にこの事業に協力できるという方がなかなか見つからない状況である。もうしばらく東近江で重点的に進めていただきながら、全県普及の方向性で考えていきたいと思っている。

委員長：歯科衛生士会として、歯科衛生士の養成や活躍の場づくりなど何かされているか。

委員：歯科衛生士会としても研修会等を長い間開催を続けているが、なかなか実際に在宅に行けますという人は増えていない状況である。県全体の研修のみならず、地域の小さい研修などもしていきたいと考えている。

委員長：訪問歯科診療については、住民啓発もまだ課題が残るが、一方で歯科のマンパワーの課題も出てきている。なんとか改善していきたい。他に意見等あるか。乳幼児学齢期は、システムが一定整備され、改善が目に見えているという状況であった。

事務局：滋賀県の中学校1年生のむし歯は全国で第7位となっている。ちなみに1位は新潟県であるが、ここはフッ化物洗口がかなり普及している。

3. 平成27年度歯科保健事業実施状況について

（事務局、委員説明）

資料2により説明。各団体・所属の取組について、情報交換をいたしました。

委員長：近年は在宅歯科医療が重点課題となっているが、やはり歯科衛生士や歯科技工士の人材確保については解決していかなければいけないなど感じた。あと、歯周疾患検診については10%未

満の受診率であるということであったが、他の検診の受診率はいかがか。

事務局：市町で行っている特定健診の受診率は約40%くらいだと思う。ただ、国民生活基礎調査の結果で1年以内に歯科医院に受診したという方が40%いるという実態からすると、歯周疾患検診については、受診率を上げるのは望ましいことであるが、実態としては口の中はそれなりに守られていると考えている。

(歯科医師会公衆衛生部)

フッ化物洗口については、保護者説明会など丁寧に地域の歯科医師が説明するようにしているので、特にトラブルなどの報告はない。

歯周疾患予防対策事業については、今年度依頼が低調なので、まだまだ募集している。何度でも聞いていただきたい内容なので、リポートして依頼してくださるところも受付中である。

高齢期については、6年ぶりにガイドブックの改定を行った。これまでの取組から顔の見える関係づくりは進んできた。これからは、現場でどのように関係者が関係づくりをしていくか、ということが課題である。現場で力を出せることを支援する取組を進めていきたい。歯科の方から提案をしていけるよう、歯科医師会の公衆衛生部で考えていきたい。在宅歯科医療連携室事業については、2か月に1回、地域の関係者が集まった研修会を行っており、ここでの顔つなぎがすぐ訪問診療の依頼につながっている。また、歯科衛生士が実際に訪問に行つてアセスメントをしているが、このアセスメントが事前に歯科医院に来るので、歯科医院が実際に現場に行つたときに診療しやすい環境となっている。

歯科医師等派遣委託事業については、病院関係者の方が大変歯科に興味をもっていることを歯科医師会として感じさせていただいたところ。これまでは書面での連携などを進めてきたが、実際に頭を突き合わせて、院内の体制整備をしていくというこれまでにない事業となっている。今後、成果を数値として示していきたい。

(歯科医師会学校歯科部)

歯・口の健康づくり推進校や優良校表彰を行っているが、なかなか参加校が増えない。特に、北部の学校の参加が少ない状況である。学校で歯科保健計画を立てないといけないなどハードルは高が多く参加してもらえそうな取組が重要。

学校歯科医研修会を2年に1回開催しているが、そこでは児童虐待と歯科について研修を行っている。

(歯科医師会口腔衛生センター部)

静脈内鎮静法の予約が6か月待ちになっており、緊急性のある治療の対応が出来ないということになっている。通常予約は2～3か月待ちになっている。打開策を検討しないといけない。また、後方支援病院の確立や口腔衛生センターのあり方なんかも考えていかないといけないと思っている。

(歯科衛生士会)

どの事業においても出動歯科衛生士が少ない状況であり、人材育成や確保に努めている。先日の研修会は、県を通じて各市町にご案内をしていただいた。歯科衛生士の復職支援として復職支援に

特化した研修会を今年度から始めた。また、災害時の対応については、歯科衛生士会のなかで名簿作成などから始めている。

(栄養士会)

歯科に関する事業は多くないが、歯周疾患事業と一緒に出前講座に参加させてもらっている。食の重要性についてともに伝えていきたい。歯の健康に関する食事の提案について、栄養士会から発信していきたい。また、在宅での訪問栄養指導も可能となっているので、連携していきたい。現実には在宅訪問指導は医師の指示がないと動けないので、少し壁が高いが、今後検討していきたい。

(健康推進員団体連絡協議会)

媒体を手づくりして歯磨きの方法などを幼稚園、保育園で啓発しており、好評である。もう少し低年齢の方にも啓発していきたい。成人期についてはなかなか活動が広がらないが、まず健康推進員が勉強して、地域に持って帰って知識を広められないかと考えて、先日歯周病と糖尿病について歯科医師に話を聞く機会を得た。高齢者との関わりは多いので、草津の「口からこんにちは体操」を広めているところ。市の保養施設の送迎バスの中で、「口からこんにちは体操」のDVDを流している。

(長浜市)

市内でも北部の方でむし歯が多いことが分かってきた。むし歯の多い児の傾向を見ると「祖父母との同居」や「第3子」などの傾向が見られた。また、歯周疾患の要精検者率が高い地域は子どものむし歯の多い地域が同じとなっている。

高齢期については、歯科の出前講座は低調なので、あまり依頼がない状況。歯科衛生士や栄養士について雇いあげの人材がいなくて困っている。

(湖南市)

若い世代から、正しい歯科の習慣が付けられるようにという方針で、歯科保健事業を進めている。近年は、100歳体操を1年以上行う団体に「いきいきかみかみ体操」を指導しに行っている。また、出前講座は土日も含めて依頼を受け付けている状況。

(甲良町)

甲良町はこれまで何をやってもむし歯が減少しないという現状であったが、フッ化物洗口をはじめて今、中学校3年生まで行うことができ、やっと統計が変わってきたな、という感じである。教育委員会との連携について、学校現場に任されているような状況なので、教育委員会事務局と連携を深められるようにしていきたい。糖尿病重症化予防事業についても指導の中で歯周病と糖尿病の関連について情報提供を行っている。今後も事業評価や関係データの提供などを県や他団体をお願いしたい。

(保健所長会)

基本的には県の事業を各保健所が共通で行っているが、地域の特性もあるので、その特性に応じた事業もあわせて行っている。甲賀保健所では、高齢者の口腔機能向上についての事業に取り組んでおり、平成25,26年度に事業参加した6事業所のうち4事業所で、介護保険のサービスとして口

腔機能向上加算を取られているので、見学研修会なども今年度は企画している。

(長浜保健所)

管内のむし歯の罹患状況が悪いので、今後の方策について市町の母子担当者と情報交換会を行っている。また、保健所としてはフッ化物配合歯磨剤の活用について進めていきたい。高齢期については、湖北圏域は歯科医療機関の環境は進んでいるが、家族や本人の理解があともう少しというところである。研修会などをさらにすすめていく。

委員長：本日の協議内容は以上である。ありがとうございました。

◆ 閉会